

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 5 日 (2020.11.5)

【公表番号】特表 2019-513845 (P2019-513845A)

【公表日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【年通号数】公開・登録公報 2019-020

【出願番号】特願 2018-545655 (P2018-545655)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/29 (2018.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

B 3 2 B 27/40 (2006.01)

B 2 9 C 48/18 (2019.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

B 2 9 K 9/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 7/29

B 3 2 B 27/00 M

B 3 2 B 27/40

B 2 9 C 47/06

C 0 9 J 201/00

B 2 9 K 9:00

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 9 月 16 日 (2020.9.16)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 3 9】

他の顕著に異なる特性は貯蔵弾性率である。押出成形された材料は、熱可塑性材料において典型的であるように、概して、温度が上昇すると共に貯蔵弾性率が連続的に低下する。しかしながら、本発明の *i n - s i t u* で重合された好適なキャリア層の貯蔵弾性率は顕著に異なり、軽度に架橋されたエラストマーと一致する特徴である、ゴム状平坦領域を発現する。1つの実施形態において、*i n - s i t u* で重合された好適なポリウレタン系キャリア層の貯蔵弾性率は、従来の押出成形温度において、熱可塑性ポリウレタンの貯蔵弾性率の約 1 0 0 倍の高さである。